

■九州朝日放送番組審議会議事概要（5月分）

第593回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成29年5月15日（月） 午後3時30分～5時15分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名  出席委員数 7名  欠席委員 1名（レポート提出）</p> <p><b>（出席委員）</b>  宮田 克彦委員長、井手 雅春委員、  鶴 利絵委員、三好 京子委員、  野田 幸之輔委員、池田 勝委員、安恒 万記委員</p> <p><b>（放送事業者側出席者名）</b>  代表取締役社長 和氣 靖  常務取締役 二木 清彦  取締役編成制作局長 清水 透  報道局長 臼井 賢一郎  ラジオ局長 園田 哲也  報道部長 柴田 高宏  報道部担当部長 西川 恵三  熊本朝日放送 報道制作局 参事・部長代理 筒井 孝彦</p> <p>視聴者・広報室長兼番審事務局 奥園 徹  事務局 原 由美子（ラジオ編成）、松永 俊郎（視聴者・広報室）</p>
議題	<p>&lt;テレビ番組&gt;  「スーパーチャンネルSP～相次いだ震度7～熊本地震から1年」  &lt;放送日&gt;  平成29年4月14日（金）  午後3時50分～4時50分（全国ネット）  午後6時15分～6時50分（ブロックネット）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成28年度下期の番組種別の公表報告</li> <li>平成29年5・6月度ラジオ・テレビ番組編成状況</li> <li>平成29年4月視聴者・聴取者応答状況の報告</li> <li>次回平成29年6月度（第594回）審議会日程  6月19日（月）午後3時30分～開催  &lt;課題&gt; 「果てなき家路 ～新法元年・進まぬ戦没者遺骨収集～（仮）」  &lt;放送予定&gt;平成29年5月30日（火）深夜3時20分～4時20分</li> <li>その他</li> </ol>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○被災地の生活再建の難しさが最も身につまされた。それでも新しい命が生まれSNSを通じて集まった赤ちゃんの写真で番組が締めくくられていたのは、とても印象的であった。</li> <li>○大和晃さんの捜索に関しては、ご両親の思いの強さを映像から受け取ることができた。何カ月にもわたり真摯に取材を続けたことがよくわかる番組だった。</li> <li>○被災地の問題は出尽くしていないが、「九州は一つ」という視点において熊本地震の風化を防ぐ意味はあったのではないかと。今後明らかになっていく課題に対し、視聴者と一緒に対策を考えていくようなニュース番組への展開を期待したい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○取材のご苦労は分かったが、全体として壊滅的な被害を受けた熊本城や南阿蘇を取り上げ過ぎたことで少し感傷的過ぎると感じた。</li> <li>○画像認識技術を利用して文化財を復旧していく過程など、熊本城を復旧させるにあたっての技術的な面をもう少しクローズアップしても良いのではないかと。</li> <li>○阿蘇大橋の崩落に巻き込まれて亡くなった大和晃さんのニュース映像は去年から何度も放送されていたため、単にまとめなおしたもので、少し冗長的という印象を受けた。</li> <li>○一年が経過したからこそ見えてきた問題点をもう少しクローズアップしても良かったのではないかと。視聴者に考えてほしいテーマや行政に問いただす視点があったと思うが、今回の特集番組の主眼や目的を教えてください。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○熊本地震を風化させないために、被害の実相やその後の復興状況、今後の課題に対し、全国の視聴者に向き合っていたことを意識し制作した。</li> <li>○被災者にとって一年という区切りはあまり関係がなく、マスコミが勝手に作り上げた区切りとも言えるが、「もう一歩前に進んでいこうというタイミングにはなる」という被災者もいた。そういう意味では一年という区切りで何かを伝えていくことは大切なことだと思った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>